

バス交通の現状 積丹線について考える

中央バス積丹線のバスの利用者が年々減少しています。このまま利用者の減少が続くと、減便やバス会社への沿線市町からの運行費用補助の必要性など新たな町の課題となることが心配されます。

町内各集落と余市町、小樽市とを結ぶ公共交通の路線バス・中央バス積丹線。

路線バスは、高校生の通学や自家用車を運転しない皆さんの買い物や通院など町民生活の足として利用されており、無くすることのできない公共交通ですが、車社会が進展したことや少子化による通学生が減少したことなどから、バス利用者は年々減少しています。

積丹線の現状は、 国の補助金で維持

現在、北海道中央バス㈱が、積丹町内と余市町、小樽市などとの間を一日、32便（16往復）運行していますが、運行費用については、収入が不足する赤字

の生活路線を維持するための国の補助金により収支の均衡が保たれ、路線維持されている状況にあります。

しかし、バス利用者の一層の減少や国の補助制度の見直しなどの影響により、国の補助金だけではの運行収支維持も難しくなり、このままでは、減便や運行経費に対する沿線市町からの補てんなど、町民生活や町の財政にも影響を与える可能性も否定できません。

バス利用者数の確保が重要

町では、こうした状況を考慮し、平成20年度から、高齢者世帯の負担軽減とバス利用者数の確保を図る目的で、「バスカー

ド交付事業」を実施してきました。

そして町民生活への影響の加速化を防ぐ一定の役割を果たしてきました。

今は、「我が家には車があるから関係ない。」と思っている方も、いつか車の運転ができなくなる日が来るかもしれません。事実、高齢者の運転による自動車事故は多発していて、「高齢者が自家用車からバス利用に転換することが事故防止につながる」という見方もあります。

特に積丹町では将来に向けて、公共交通としてのバスを地域の足として確保していくことの重要性は、一層増してくることはご理解いただけると思えます。



神威岬へ向かう路線バス ～日司町内～

どうする悪循環？

バス会社は、国からの赤字路線の運行に対する補助に頼るだけでなく、バス燃料が高騰している中、平成19年以降、バス運賃の改定を行わないなど、経費削減や利用者動向を考慮した運行方法の見直しなどの企業努力をしながらも、積丹線の維持の難しい課題に苦慮している現状を国や道、沿線市町に訴えています。

バス利用者の減少による減便が、利便性の低下につながり、それが一層のバス利用者の減少を招く。そうした悪循環を招かない方策の難しい検討が急がれています。

「20分」の違いをどう考える？

美国町から小樽駅前まで、自家用車では約1時間、バスの所要時間は1時間20分と、時間的には約20分の違いです。

また、自家用車は、荷物の持ち運びが楽で、目的地の近くまで好きな時に行くことができるという利便点がありますが、バスには運転の疲労が無い、車の購入費や維持費がかららない、安全・安心、CO₂排出量の削減など「人にも地球にもお財布にもやさしい」といった利点も見逃せません。

私たちは、豊かさや利便さを求めてきた今日の社会生活の中で、バス交通の現状を考えてみたいものです。

町外の知人・友人にお知らせください！

バス往復券と施設利用料がセットでお得！

■岬の湯じゃこたんバスセット券

- ・札幌発着 大人4,100円
- ・小樽発着 大人3,100円



■水中展望船バスセット券

- ・小樽発着 大人2,570円 小人1,290円

詳しくは中央バスホームページで確認ください。

= 路線バスを
考える =

バス運賃は高い？ バスは不便？

質問：バス料金って高いと思う？

◇バスの場合：余市駅から札幌駅前まで1,000円。
◇JRの場合：余市駅から札幌駅まで1,040円。
同じ区間で比較するとバス運賃が安い。美国～札幌駅までのバス運賃は1,680円。(いずれも片道運賃)

答え：バス料金は高い料金ではない！

質問：バスって遅いと思う？

◇余別から小樽駅前前は2時間13分の所要時間。
◇美国から小樽駅前前は1時間20分の所要時間。
美国から小樽駅前を車で一般走行すると1時間。
美国から小樽間、その差の20分は安全・安心時間。

答え：バスは遅い乗り物ではない！

独自の 積丹ウニ子

= 札幌駅前へ買い物に出かけるのに、バス利用について調べてみました =

◇バス(高速積丹号)利用の場合：札幌市内滞在時間、約5時間。費用：バス代3,180円(往復割引乗車券利用)

【往路】 8:55 美国発 ～バスの中でスケジュールや買い物の確認～ 11:15 札幌駅着 昼食・買い物

【復路】 16:15 札幌駅発 ～ウトウト居眠りしている間に… ～ 18:31 美国着

観光せんたあからは車で自宅へ。【結果：テパ地下食材とワインで楽しく夕食】

◇自家用車の場合：札幌市内滞在時間、約5時間。費用：合計4,710円

(ガソリン代14,203円、高速代1,600円、駐車代3時間1,080円)

【往路】 9:00 美国発 ～音楽を楽しみ、高速道路経由でルンルン！ドライブ～ 10:51 札幌駅着

駐車場入庫待機15分、昼食・買い物

【復路】 16:00 札幌駅発 ～疲れや眠気と戦いながら、何とか運転…～ 17:51 美国着

【結果：ワインを飲めず、疲れもたまり…】

費用はバスが1,530円のお得！体の負担もバスが楽しく！で、バスを利用！！

今年の開館までに、新たに約20点の展示パネルを作成し、水辺で観察できる鳥やサクラマスなどの魚、昆虫の生態などについて紹介しています。
写真を使いながら、動物たちの生態を書き添えたパネルは小学生にも分かりやすく、子どもたちは真剣に河村指導員の説明に耳を傾けました。
館内や遊歩道などを見学した約1時間の授業の最後には、河村指導員がこれまでに撮りためた、動物たちの貴重な瞬間をと

5月1日のサクラマス・サンクチュアリーセンター開館に先立ち、同センターの事前公開が4月27日、余別小(中村直也校長、児童5人)の授業の一環で行われました。
同センターには、昨年度から地域おこし協力隊として河村博環境生態系保全技術指導員が配置され、センターの運営や生態系の保全活動などを行っています。

5年生の柏崎雄也くんは「分かりやすいパネルや、説明が面白くて楽しかったです。」と話し、子どもたちにとって、身近な自然に触れる課外授業となりました。

◎ サクラマス・サンクチュアリーセンター
◎ 余別小が課外体験学習
◎ 展示パネルをリニューアル
◎



今年の開館について河村指導員は、「遊歩道や展示物を充実させ、子どもたちの学習機会を増やしたい。また、山・川・海の繋がりを科学的にはつきりさせる研究を進めたい。」と抱負を語っています。